Railway Designers' Evening

# 2014RDE設立

2014年、鉄道デザインを考える
有志（実行委員会）が集まり、
RDEが結成されました。
鉄道デザインに関する各種テーマを掲げ、
毎年「RDEフォーラム」を開催することとしました。

これまでのRDEの活動（RDEフォーラム）を紹介します。

2014RDE設立

## 0 -2013 展

RDEプロローグ／幕張メッセ

### 鉄道のある景観

環境＋景観

### デザインから鉄道を考える

●鉄道におけるデザイン
——橋本優子
●鉄道駅舎をめぐって
——小野田滋
●鉄道のデザイン——その総合性
——山田晃三
●景観の中の車両デザイン
——南井健治

モデレーター——鼠入隆志

## 1 -2015 展

第1回RDEフォーラムの開催／幕張メッセ

### 鉄道デザインの黎明期から現在まで

黎明期を語る

**デザインから鉄道を考える**

●席談
——松本哲夫＋木村一男＋橋本優子

**昭和を生きたベテランデザイナーから**
▶見た目の話ではなく**事業者の経営方針**をクリエイトすることが大事
▶つねに**利用者の立場**に立って思考する
▶車両だけでなく地域の景観や駅舎、設備など**あらゆるものをデザイン**すべき
▶欧州に比べると日本の鉄道デザインはかなり遅れている。生活環境の質も同様

**交流会**の開催　→以降恒例

第2部 交流会の開催

## 2 -2016 展

第2回RDEフォーラム／国立オリンピック記念青少年総合センター代々木 ●J-Rail2016にて

### 鉄道・まち・文化そしてデザイン

RDEの視点・
鉄道デザインの全体像

通勤車両の魅力

●キーノートオリエン——山田晃三
→デザインの立場／RDEの全体像
●京阪日本E235系——熊井英之
→人と対話する車両のあり方
●阪急日本3235系——大森正樹
→大阪環状線のブランドを牽引
●東京メトロ日比谷線——松本耕輔
→利用者目線からのコンセプトの策定

モデレーター——山田晃三
進行——————久野和美

## 3 -2017 展

第3回RDEフォーラムの開催／幕張メッセ

### 鉄道とコミュニケーションデザイン

情報のデザイン

サイン

●基調講演——山田晃三
デザインの三界・サインとは何か
●国際的視点／鉄道とサインの公共性
——兜山啓一
●利用者視点／ユニバーサルデザインとサイン
——定村俊満
●事業者視点／鉄道課題を解決するコミュニケーションデザイン
——大森正樹

モデレーター—南井健治

## 4 -2018 展

第4回RDEフォーラムの開催／京都鉄博
—初めての地方開催

### 地域文化と鉄道デザイン京都鉄道博物館での開催

地域文化

●基調講演——南井健治
鉄道デザインの過去・現在・未来
●基調講演——藤谷哲男
京都鉄道博物館の意義
●テーマ講演1——大浅田寛
—京阪電鉄の企業文化とその デザイン
●テーマ講演2——ダニエル・ロドリゲス
—異なる文化と鉄道／ドーハ向け車両
●テーマ講演3——田島辰哉
—国内の路面電車と地域特性・多様性

総評——山田晃三

見学会＋懇親会

## 5 -2019 展

第5回RDEフォーラムの開催／幕張メッセ

### デザインとエンジニアリングデザイナーはどのように領域を超えるのか

技術とデザイン

設計領域での協働の重要性

安全と安心のありか

革新的デザイン

●テーマ講演1——朝倉重徳
美の共有「**デザインの本質**を探る」
●テーマ講演2——福田哲夫
**領域統合による新価値創造**
「設計におけるプロジェクトのかたち」
●鼎談——朝倉＋福田＋南井健治

RDAポスターセッション
※RDA(鉄道デザイン研究会Rolling Stock Design Academy)

## 6 -2020 展

第6回RDEフォーラムの開催／
日本鉄道車輌工業会会議室

### 鉄道をめぐる さまざまな論点から、「鉄道デザインの過去、現在、未来を語る」——ポスト・コロナ時代の新たな価値

ポスト・コロナ時代のテーマ関係図

鉄道デザインの未来を語る

●人と技術のインターフェース
●日本の鉄道組織サイクルは40年周期
●安心は未来にのみあるわけではない
●日本の景観にこそ相応しいデザインを
●豊から眺へ「次世代サービス・デザイン」
●ネットワークを活かしたシームレスなデザイン

## 7 -2021 展

第7回レイルウェイ・デザイナーズ・イブニング 2021／幕張メッセ

### どうして鉄道は人を惹きつけるのか—技術だけでは語れない鉄道の魅力を探る—

2年ぶりのリアル開催

●第1部——山田晃三、名取紀之、柚原誠、久野和美、南井健治
**どうして鉄道は人を惹きつけるのか**
—技術だけでは語れない鉄道の魅力を探る—
●第2部——小雲大地、杉本信広、野末壮
**暮らしの魅力を振り起こす鉄道デザイナー**
●第3部——**情報交流会**

鉄道車両のデザインは誰のもの

## 8 -2022 展

第8回レイルウェイ・デザイナーズ・イブニング 2022／インテックス大阪

### 心地よさをデザインする—鉄道と織物 —

"快適さ"と"心地よさ"

RDAセッション
「心地よさの追求」

●第1部——南井健治、龍村晃、鳥津邦雄、山田晃三
**心地よさをデザインする ―鉄道と織物 ―**
●第2部——小雲大地、杉本信広、野末壮
**RDAセッション「心地よさの追求」**
●第3部——**情報交流会**

## 9-2023 展

第9回レイルウェイ・デザイナーズ・イブニング 2023／幕張メッセ

### 鉄道とブランディング独自のブランド戦略が、地域を変える—— 3社3様のブランディング

久しぶりの通常開催

●第1部
・キーノートスピーチ：山田晃三
・パネルディスカッション モデレータ：南井健治
1.新京成電鉄株式会社：相原栄次
2.南海電気鉄道株式会社：渡辺春代氏
3.相模鉄道株式会社：鈴木昭彦氏
●第2部——鉄道車両デザイン研究会（RDA）プレゼンテーション
●第3部——情報交流会

## 10-2024 展

第10回レイルウェイ・デザイナーズ・イブニング（RDE）RDEフォーラム2024 in 宇都宮（会場：ライトキューブ宇都宮）

### ライトラインが描くまちの未来 —芳賀・宇都宮ライトレールの誕生と都市のデザイン—

RDE10周年を迎えて

●テーマ解題——山田晃三
●キーノート・スピーチ
・基調講演1—久野公人
ライトレールが描いた「芳賀・宇都宮の未来」
・基調講演2—中尾正俊
路面電車からライトレールへ
「LRTはまちづくりの装置」
・トータルデザイン・レクチャー—入江寿彦
公共交通における
「トータルデザインの可能性」
●パネルディスカッション
モデレーター　南井健治
パネラー　中尾正俊、入江寿彦、鳥津邦雄
●情報交流会
●エクスカーション
・芳賀・宇都宮ライトレール株式会社本社
車両基地にて車両基地見学会

〔主催〕
●レイルウェイ・デザイナーズ・イブニング実行委員会
南井健治（委員長）
山田晃三、佐伯洋、鼠入隆志、荒井一則、橋本優子／設立時
●産経新聞社 事業本部 コンベンション事業部
中村理香（事務局）